

数 学

(1) 昨年度の取組みの見直し

(2) 今年度の課題及び指導改善

昨年度の課題

「数と式」の領域がやや低い。(県平均 - 0.7)

さらなる学力向上を目指す。(府中市「学力向上のための調査」を指標とする)

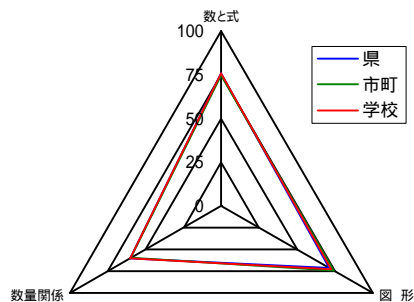
達成状況

今年度「数と式」の通過率の県平均との差が - 0.7 から + 0.1 に向上した。

この学年において今年度(H18)の府中市の「学力向上のための調査」で市の平均到達度を大きく上回る(市平均 + 6.3)ことができた。

通過率

県平均	71.4 %
市町平均	71.6 %
学校平均	71.9 %



重点課題

おうぎ形の面積、円柱の体積など図形の計量ができるようになる。

(図形の計量分野の指導)

反比例の表を完成させることができるようになる。

(関数分野の指導)

重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

図形の計量の力をつけるために

1年時 作図、面積・体積

2年時 錯角・同位角、円周角・中心角等

3年時 三平方の定理とその利用(平面・空間)、相似の利用

の学習において、これまで以上に実際の作業をおこなう機会を増やすことや、問題演習において徐々に難易度を上げることで経験を通して図形の計量の力をつける。

反比例の表が書けることに関連して

1年時 比例、反比例

2年時 一次関数

3年時 二乗に比例する関数

の学習において、これまで以上に式・表・グラフの作成の回数を増やして、それぞれの扱いに慣れることでそれぞれの関数の特徴を知る。

それぞれの関数ごとにまとめをし、以前に学習した関数との違いもまとめに入れることで、違いを理解し、利用できるようになる。

「ことばの教育」の視点で、数学の授業においても言語技術を積極的に取り入れることで、論理的思考力・表現力の向上を図る。

(手だて)

・根拠・理由を説明させる機会を増やす。

・単元ごとに内容をまとめさせ、学習の整理をさせる。